

第1学年 外国語科学習指導案

指導者 小林 康仁

1 単元名

教科書 LANDMARK Fit English Communication I (KEIRINKAN)
Lesson 6 “Biodiesel Adventure”

2 単元について

○教材観

新学習指導要領の外国語の目標には「外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、聞くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して…」とある。ペアワークによるパフォーマンステストを目標に、英文を読み、自分の意見を発し、相手の意見を聞く能力や資質を育むことを本単元の目標とする。

また、本単元の題材は、環境問題について書かれたモノログである。高校生にとって、環境問題へ目を向けるだけでなく、広い世界を知ることや、自分の生活を顧みることができるような内容であり、心に残るフレーズが随所にみられ、自分の意見を持ちやすいと考えられる。そこで、本校のCANDOリストで設定した「話すこと [やり取り]」の中の「身近で社会的な話題」という箇所該当するとし、生徒同士が、自分の取り上げたい箇所について話題にし、理由や追加情報を含めながら意見を交わし、会話を継続する能力を育むことをねらいとする。

言語材料としては、Lessonを通して、学習指導要領のコミュニケーション英語 I 「2内容 知識及び技能 エ (ア)」に定められる表現の内、不定詞や動名詞、What S V の関係代名詞を含め、様々な言語材料が含まれている。

○生徒観

事前のアンケートにより「英語に興味があるけど苦手」「英語は大切だと分かっているが好きではない」という生徒が多い。地元である河口湖周辺へ観光で訪れる外国人観光客と、英語でコミュニケーションを取ったことのある生徒が多く、コミュニケーションの道具としての英語を習得するための動機付けがしやすいと考えられる。一方、英語という教科については苦手意識を持つ生徒も多く、言語本来の目的であるコミュニケーションを通して、英語で自身の意見が伝わる楽しさを感じ、失敗を恐れずにコミュニケーションを図る態度を育みたい。

○指導観

本単元の指導にあたっては、単元末に「教科書の本文に関連した初見の文章についてその場で読み、それを踏まえて、内容を引用しながら、自分の考えや気持ちを伝え合う」ことを目標とする。本文内容を読み自分の考えや気持ちを伝え合う活動を繰り返し行いながら、相手に言いたいことを分かりやすく伝えるために、理由や説明を加えて発話できるように、また、会話を継続するために相手の発話内容に反応し、理解を示し、質問をするなどして会話を継続させることができるように指導していく。

第1時では、Lesson6の導入として、海外で環境問題について取り組む実在の人物についての動画を観て、その目的や方法について英語で対話をしながら理解する。また、山田周生さんの旅について紹介し、ペアワークにより、環境問題を話題として意見を言い合い、会話を続けていく力の育成を図る。

第2時～第9時では part 1～4 をパートごとに内容を理解し、語彙や文法を習得しながら、英語でのやりとりをするための語彙や表現、方略的能力を習得する。第10時には、パフォーマンステストを実施し、ある話題についてペアで会話を続ける力を測る。

3 CAN-DO リストの形での学習到達目標（第1学年）

「話すこと [やり取り]」における第1学年の目標及び評価規準

読むこと	話すこと [やり取り]
<p>・肯定・否定などの書き手の意見の要点と、その理由や説明を掴むことができる。</p>	<p>・日常的な話題や身近で社会的な話題について、基本的な表現を使い理由とともに自分の意見を伝えることができる。また、相手の発話内容に対して、基本的な表現を用いて、適切に反応したり、理解を示したり、質問をしたりしながら、即興的に会話を続けることができる。</p>

関連する領域別目標：読むことイ、話すこと [やり取り] イ

4 単元の目標

環境問題について書かれた英文を読み、相手に自分の考えや気持ちを理解してもらえるように、学んだ語彙や表現を使いながら、理由や説明を加えて、互いに伝え合うことができる。その際、相手の発言に反応したり、発言をまとめて繰り返したり、質問をしたりしながら会話を続けることができる。

5 言語材料

- 表現 I think ~ because... / you think ~ but I think ...
- 語彙 環境、依頼、家庭での生活、

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<p>[知識] ・環境問題に関する話題について、自分の考えや気持ちを理由や説明を加えて相手と伝え合うための語彙や文法、表現を理解している。</p> <p>[技能] ・環境問題について自分の意見を、理由や説明を加えながら伝え合い、会話を続ける技能を身に付けている。</p>	<p>環境問題について書かれた英文を読み、学んだ語彙や表現を使いながら、相手と読んだ内容について考えたことや感じたことなどを、理由や説明を加えて伝え合うことができる。その際、相手の発言に反応したり、発言をまとめて繰り返したり、質問をしたりしながら会話を続けることができる。</p>	<p>環境問題について書かれた英文を読み、相手と読んだ内容について考えたことや感じたことなどを、理由や説明を加えて伝え会おうとしている。その際、相手の発言に反応したり、発言をまとめて繰り返したり、質問をしたりしながら会話を続けようとしている。</p>
読むこと	<p>[知識] ・書き手の意見の要点と説明箇所を見分けてつかむために必要な語彙や文構造、代名詞等の指示語の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] 書き手の意見の要点と説明箇所を見分けてつかむために、内容に着目し、代名詞や指示語の指示するものを読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>・環境問題について書かれた英文を読み、書き手の意見の要点をつかみ、その理由や説明を読み取るために、トピックセンテンスとサポーティングセンテンスを整理して見分けている。</p>	<p>・環境問題について書かれた英文を読み、書き手の意見の概要をつかみ、その理由や説明を読み取るために、トピックセンテンスとサポーティングセンテンスを整理して見分けようとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画 (全8時間)

時間	目標 (◆) 主な言語活動 (○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準 (評価方法)
1	<p>◆環境に関する動画を基に、単元の目標に対する関心を高める。</p> <p>◆part1 の本文の概要を理解する。</p> <p>○動画を観て、内容について教師の質問に答える。</p> <p>○内容についてどう思うか、ペアで意見を伝え合う。</p> <p>○山田周生さんの紹介を見たあと、part 1 の音声聞いて、旅についての概要を簡単にまとめる。</p> <p>○PT のモデルとなる JT と ALT のやり取りの動画を観て、PT の評価基準の確認をする。</p> <p>条件①読んだり見たりした内容について、自分の興味を持った箇所について取り上げ、自分の意見や感想を言うことができる</p> <p>条件②ペアの発言に適切に反応したり、理解を示したりしながら会話を続けることができる。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	<p>◆part1 の本文内容について、主張とその説明に分けて整理することができる。</p> <p>◆日常的な話題について、主張や言いたいことを分かりやすくするために説明を付け加えながら相手に伝えることができる。</p> <p>○グループに分かれ、提示された質問(1)What did he do? (2)Why did he travel? (3)What did he think about his journey before his journey?に答える形で、切り離されて印刷された本文の内から①Topic Sentence(TS)を探す②それぞれに Supporting Sentence(SS)を適切に並び替えて付け加える活動をする。</p> <p>○TS と SS について学習する。</p> <p>○音読練習をする。</p> <p>○ペアで日常的な話題について、主張や言いたいことについて理由や説明を付け加えながら相手に伝える。</p> <p>[語彙] 環境、家庭での生活、地域での活動</p> <p>[表現] I usually ..</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3	<p>◆part2 と part3 の本文内容について、旅の行程を理解できる。</p> <p>◆自分の持つ情報を相手に伝えることができる。</p> <p>◆聞いた情報を繰り返して相手に確認することができる。</p> <p>○ペアで「長距離の旅」に関する話題について、主張や言いたいことについて理由や説明を付け加えながら 2 文以上で発話する。(ウォーミングアップ)</p> <p>○ペアになり、それぞれ part2 と part3 の必要な語彙や表現を確認しながら、世界地図に山田周生さんの旅の行程を書き</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

	<p>入れる。</p> <p>○それぞれ、英語でお互いに情報を確認して地図を完成させる。相手の情報を聞いた際、聞いた内容を繰り返して確認する。</p> <p>○クラスで地図の確認をする。</p> <p>[語彙] 移動、場所、 [表現] ~ went to ~ before/after.. After that, Later</p>				
4	<p>◆part2 について、アメリカの人々との間で周生さんに起きたことを理解できる。</p> <p>◆「周生さんの旅が最初はうまくいかなかったが、次第に人々の助けを得た」という話題について、ペアで自分の意見を伝えることができる。</p> <p>○語彙や表現を確認しながら本文内容に関する正誤問題を解き、アメリカでの周生さんの経験を確認する。</p> <p>○周生さんの経験について、At first~, after that ~/~ later の語句を用いて、自分の意見を相手に伝える。その際、聞き手は、反応したり、相手の言ったことを繰り返したりして理解を示し、会話を継続する。</p> <p>○やり取りした内容について書いて整理し、自分たちのやり取りをより良いもの（内容が深まったかどうか、継続的かどうか）にするにはどうすればよかったかを話し合う。</p> <p>[語彙] 旅行 [表現] After that, Later</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
5	<p>◆part3 について、ヨーロッパでの周生さんの行動について理解できる。</p> <p>◆周生さんの経験について自分の興味がある箇所を取り上げ、それについてペアで自分の意見や感想を伝えることができる。</p> <p>◆聞き手は、反応したり、相手の言ったことを繰り返したりして理解を示し、会話を継続する。</p> <p>○語彙や表現を確認しながら本文内容に関する正誤問題を解き、ヨーロッパでの周生さんの行動と経験したことを確認する。</p> <p>○JTE と ALT のやり取りの動画を観て、話題の取り上げ方を確認する。</p> <p>○ペアで練習する。</p> <p>○机間巡視をし、困難に感じる生徒がいれば中間指導をして繰り返す。</p> <p>[語彙] 気候、旅行、移動 [表現] ~ went to 国 in 季節. I want/don't want to ~</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

6	<p>◆part4の本文内容について、part1の旅の目的（野菜油で動く車での旅、人々との交流）がどう達成されたかを理解できる。</p> <p>◆周生さんの旅の目的がどう達成されたか、どの部分からそう思うかを伝え合うことができる。</p> <p>○日常的な話題についてペアで話をする。その際、話し手は自分の意見に理由や説明を加える。聞き手は、反応したり、相手の言ったことを繰り返したりして理解を示し、会話を継続する。（ウォーミングアップ）</p> <p>○part4を読んで、語彙を確認しながら本文内容に関する正誤問題を解く。</p> <p>○part1に書かれていた旅の2つの目的がなんであったか（廃油で動く車での旅、人々との交流）を確認し、それぞれどう達成されたか、どの部分からそう思うかをペアで伝え合う。</p> <p>〔語彙〕 環境、依頼 〔表現〕 The first/second purpose was achieved because~</p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。	
7 本時	<p>◆part4の本文内容を基にLesson全体をまとめ、最も印象に残った箇所を取り上げ、理由や説明とともにペアで意見交換することができる。</p> <p>◆聞き手は、適切に反応したり、相手の言ったことを繰り返したりして理解を示し、会話を継続することができる。</p> <p>○周生さんの旅について、2つの目的について復習しながら、「読んでいるわたしたちが、周生さんの旅から学べる事」をまとめて本文内容を確認する。</p> <p>○そのうちで最も印象に残ったことを、理由や説明とともにペアで意見交換をする。</p> <p>○グループになり、やり取りの様子を自分たちで撮影して会話を記録し、振り返って再び練習する。</p> <p>〔表現〕 What I learned from Shusei's adventure is that ~. /The most impressive point for me is that "~". It's because ~ He ~. I think ~ is ...</p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。	
後日	◆パフォーマンステスト	○	○	○	★教員による評価

(※) パフォーマンステストについて

◎パフォーマンステストの内容

あなたは英語の授業で、海外の留学生を交えて「日本の環境問題」について話し合うことになりました。そこで、友人と以下の環境保護活動の記事についてどう思うか、自分が気になった部分を引用しながら、意見交換をすることにしました。自分の考えや気持ちを伝え、相手に意見を聞きながら、ペアでやり取りしてください。その際、2つの条件を参考に会話を続けてください。3分後に始まります。

【記事】

“Mt. Fuji Clean-up Climbing” started 5 years ago. Kohei Suzuki, a high school student, started it because he was worried about a lot of garbage in Mt Fuji.

He asked climbers to collect the garbage that they found while climbing. At first, not many people supported him because it took a lot of time to collect garbage while climbing.

However, after Kohei kept asking people to join it after school for about 2 years, the number of people taking part was increasing. Surprisingly, the first big group joining his activity was foreign people. They emailed him before coming to Japan because they had found an online article about him.

Kohei said, “I learned keeping one thing for a long time is sometimes important. Let’s keep it together.”

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）

条件①：読んだ内容について、自分が気になった部分を引用しながら、自分の考えや気持ちを伝えている

条件②：ペアの発言に適切に反応したり、理解を示したりしながら会話を続けることができる

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙、表現、文法が適切な英文で話すことができる。	理由や説明を詳細に述べたり、本文を適切に引用したりしながら2つの条件を満たしてやり取りしている。	理由や説明を詳細に述べたり、本文を適切に引用したりしながら2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
b	コミュニケーションには支障がない程度の誤りのある英文で話すことができる。	2つの条件を満たしてやり取りしている。	2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
c	bに満たない	bに満たない	bに満たない

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール

・思考・判断・表現の評価 a のペア

A: Mr. Suzuki kept asking people to join “Mt. Fuji Clean-up Climbing” for 2 years, I’m impressed that he never gave up for such a long time. I can’t do the same thing. What do you think?

B: I agree with you . I guess he believes that he will succeed. The most impressive phrase for me is “the first group joining his activity was foreign people”, but it is a little disappointing to me.

A: Oh, you are disappointed. Why do you think so?

B: Because the first group was not Japanese people. I think Mt. Fuji is a mountain in Japan, so we Japanese people must work hard to protect the environment of Mt. Fuji.

・思考・判断・表現の評価 b のペア

A: Mr. Suzuki said that he learned keeping one thing for a long time is important. I think so too.

B : You think so? Why?

A: Because achieving a goal is not so easy. I think if we want to succeed in something, we should keep doing it. How about you? What do you think about his experience?

B: He said, “At first, not many people supported him”. But I wonder why not many people supported him. I want to join the cleaning activity.

A: You want to join it. Why?

B: Because I like Mt. Fuji, so I want to do something good for it.

8 本時の学習

(1) 日時 令和3年12月16日(木)

(2) 場所 山梨県立富士河口湖高等学校 LL 教室

(3) 目標

- ・本レッスンで自分が最も印象に残った部分について、相手に理解してもらえるように、本文を引用したり、明確な理由とともに説明したりして、ペアで伝え合うことができる。
- ・聞き手は、適切に反応したり、相手の言ったことを繰り返したりして理解を示し、会話を継続することができる。

(4) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準(評価方法)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Greeting】 ・あいさつをする。 ○ 【Small Talk】 ・”Do you want to travel like Shusei? Why?” 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・本文の内容に触れながら会話することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発話をよく聞き、教師はメモをしておく。 ・必要があれば支援を行う
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Aims】 ・本時の目標を把握する。 ・モデルの動画(b 評価)を観る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とモデルをスクリーンに映し、本時の目標について説明する。 	

Today's Goal: For the Performance test.

①To be able to talk with your partner about the part of the story that impressed you the most using quotes from the text and clear reasons.

②To be able to react, repeat, or ask your partner to keep your conversation going.

15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Preparation】 ・周生さんの旅をまとめる。 ・その中で最も印象に残った場面を英語で言えるよう準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに表示しながら内容を確認する。 ・ハンドアウトを見ないで会話できるように練習することを指示する。 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【First pair work】 ・評価に沿って印象に残った場面をペアで伝え合い、意見交換する。その際、交代で動画を撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・aを達成できるよう取り組むことを指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視をする。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【Reviewing・Mid instruction】 ・モデルの動画(b 評価)を観ながら、a 評価を取るためにどうすればいいかを話し合う。必要があれば他のペアのものを共有してもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの動画を再び流す。 ・達成度が高いペアや、つまずきのあるペアの情報をクラスに共有する。 	

5分	○ 【Second pair work】 ・再び動画に残す。	・目標を画面に表示し、それを達成できるよう取り組むことを指示する。	・机間巡視をし、必要なら支援する。
8分	○ 【2nd Reviewing】 ・動画を観ながら、評価シートにそれぞれペア内で評価する。	・指示をする。	・ワークシート記入
2分	○ 【Wrap-up】 ・本時の内容を復習する。	・パフォーマンステストに向けたフィードバックを行う。	

(5) 評価

「読むこと」の知識・技能

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
・「b」を十分に満たし、関連した所見の英文においても知識・技能を応用する力を身に付けている。	・文章を読み取るために必要となる語彙や表現の意味や働きを理解している。 ・環境や旅についての文章を読み取る技能を身に付けている。	・「b」を満たさず、語彙や表現、文法に関する知識や、読み取るための技能を身に付けていない。 →基本的な語彙、表現、文法の確実な定着を図り、英文の構成の理解について指導をする。

「話すこと [やり取り]」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
・「b」を十分に満たし、自分の意見に対して理由や説明を加えて表現できる。 ・相手の発話内容に対して適切に質問できる。	・書かれている英文の興味のある箇所を取り上げ、それについて意見できる。 ・相手の発話に対して適切に反応したり、相手の言ったことを繰り返したりして理解を示し、会話を継続することができる。	・「b」を満たさず、書かれている英文の興味のある箇所を伝えることができない。また、意見を適切に言うことができない。 →基本的表現の練習として口頭でリピートさせるなど、教員や達成度の高い生徒とやり取りをする中で定着を図る。

7 その他の添付資料

※次ページより教科書ページ添付（掲載なし）